



2022年7月25日発行
通算第232号

会員だより 2022年 8月号

NPO 法人 大田・花とみどりのまちづくり
〒146-0094 大田区東矢口 3-17-2-103
Tel&Fax. 03-3734-7932 / ✉ npoogc@yahoo.co.jp
<https://hanamidori.sakura.ne.jp/>

近場の公園に出かけてみよう♪

■ 森ヶ崎緑華園

これまで、会員だよりでご紹介してきましたとおり、昨年の5月まで、当会で18年間、緑地管理を行いながら、会の活動拠点として活用をしておりました大森南圃場が「森ヶ崎緑華園」という新しい区立公園として生まれ変わりました。当会は「緑化アドバイザー派遣（土日祝）」「イベントの企画と運営への協力」という形で、公園を管理される造園会社さんと一緒に魅力的な公園を作るために、お手伝いしています。まだ植えられた樹木が十分に枝葉を伸ばせていなくて、緑陰が少ない園内ですが、立派に建て替えられた管理棟の中は涼しく園内の景色を臨みながら涼むことができます。ぜひ、一度足を運んでみてくださいね。



↑大田区ホームページより
↓今年4月に開園したばかりのころの園内



↑5月20日にたねダンゴを植えたベンチ花壇



↑多花性ひまわり「アポロン」



↑馬込半白胡瓜の展示栽培

■ 田園調布せせらぎ公園

昨年1月にきれいで心地よい空間として「田園調布せせらぎ館」がオープンし、駅前にカフェもできて来園者がぐんと増え、公園としても生まれ変わった感があります。当会が設立したのと同じところに公園予定地、として動き出した公園でもあり「一緒に大きくなった」と、勝手に親しみを感じている公園でもあります。当時、開園に向けて開催されたワークショップで、一年草がにぎやかに咲くのではなく、山野草がひっそり咲く公園、という方向性が示されたことを受け、大田区から託された山野草の苗を植えてお手入れを続けてきています。右の写真は、これから咲く山野草「キレンゲショウマ」「レンゲショウマ」8月10日ごろが見ごろとの予報です。植えられている場所はせせらぎグリーンメイトの皆さんにご確認くださいね。少しの間、お休みをいただいていた第一日曜日の園芸セミナーも、9月から再スタートとのこと。お楽しみに♪



キレンゲショウマ（上）とレンゲショウマ
（会員制写真素材サイトより）

オンライン談話会 7月21日(木)

今回は、オンライン談話会を主宰する牧野が、ここ数カ月通っている、北海道の観光ガーデンや個人のお庭の写真レポートを中心にご紹介しました。



8月のオンライン談話では、恵庭市の花の拠点「はなふる」をメイン会場として開催された全国都市緑化フェアの様子や、そこに結集された市民力のすばらしさについて、ご紹介いたします。会員外の方でも、どなたにもご参加いただけます♪

**■ 訃報 ■**

搬送部担当者として、会のために多大なるご尽力をくださいました内田和美さんが、7月16日に、闘病の末、永眠されました。内田さんは、南馬込区民農園開園時には、お住まいが近くということもあり、周辺清掃やごみの片付け等、ご協力くださっていました。駅前花壇の活動でも、皆さんから大変頼りにされていました。寂しく、残念に思います。ご冥福をお祈りいたします。

**安全
コラム****熱中症予防と「マスク着脱」について**

先日、運営委員会で、こんな会話がありました。

「コロナ感染予防も大事だけど、この季節は熱中症の危険性も高いので、屋外では距離をとって、マスクを外そう、という呼びかけがある。当会の活動も、屋外が中心だから、積極的にマスクを外す方向にできないのだろうか？」

「私が担当する現場でも、同じ議論があったけれど、屋外でマスクを外してよいとされる基準は十分な距離だけでなく、少ない会話、とされている。うちの会の場合、活動への参加動機が、仲間とのふれあい、だから、会話が少ないとはいいがたく、みなで相談した結果、マスク着用は継続しよう、となった」
一同、納得。

ということで引き続き活動の際には原則マスク着用をお願いしていきますが、個々人の判断で、暑さで息苦しいと感じたときには、マスクを外して休息をとる、互いに隣の人の様子をうかがう、声を掛け合う、などの配慮を、お願いします。

引き続き、会員及び関係する皆さまの安心・安全な活動を第一優先とし、新型コロナウイルス感染拡大防止への配慮にご協力をお願いいたします。

<今月の会員だよりの同封物>

- ◆活動カレンダー ◆活動アンケート(会員のみ) ◆「みどりの縁側」だよりの8月号
- ※有償活動に参加された方への「ポイント発行のご案内」は、後日別送いたします。